※令和４年度以降入学生用

学校番号	404

令和５年度　学　看護総合科

教科	学　看護総合	科目	(学)看護医療基礎Ⅰ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書							
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

社会の中での看護医療問題に関心を持ち、常に新聞等で最新の情報について確認しておく。それに対して自分の意見を持ち、文章表現できるような力を養う。看護医療従事者として働く上で必要な資質を身につける。

２　学習の到達目標

(a) 看護技能の基礎となる救急看護の知識・技能を身につける。
(b) 看護医療従事者として、その時、その場で、的確に判断して伝えることができるようになる。
(c) 日々変化している看護医療界の問題に接し、自分の考えを持てるようになる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	得た知識をもとに、看護医療の現場で生かしていくことを考える。 看護技能の基礎となる救急看護を学ぶ。	看護医療従事者として働く上で必要な資質を身につけ、それを言語表現・文章表現する。	常に社会の中での看護医療問題に関心を持つ。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	看護の成り立ち－現代社会における看護とは	・医療現場における社会的ルール ・医療系の他職種について ・看護の歴史	a: 挨拶・団体行動・上下関係を理解したか。 b: 仕事に対する姿勢への応用 c: 看護・医療の現場に関心を持ったか	レポート 定期考査	レポート 小論文	授業への取り組み
		・社会から要請される看護とは ・保健師、助産師、看護師法について ・健康の定義 ・ヘンダーソンによる看護の基本的構成因子14項目	a: 看護を展開していくための基本的項目が理解できたか b: 自分が考える看護について文章表現できたか c: 必要とされる看護に関心を持ったか	レポート 定期考査	レポート 小論文	授業への取り組み
2		・急を要する症状と看護 ・観察とコミュニケーション	a: 看護における観察とコミュニケーションの重要性について理解したか b: コミュニケーションの重要性とその実践 c: 緊急の看護に関心を持ったか	レポート 定期考査	レポート 小論文	授業への取り組み
		・看護師への適性と各人の進路の確認	a:看護に関する基礎的な知識と基本的な技能を習得しているか b: 将来 40 年働くことを念頭において、進路を考えているか c: 看護師になりたい理由が明確か、自分の将来像を考えているか	レポート 定期考査	レポート 小論文	授業への取り組み
3	看護における人間の理解、人間の成長・発達	・看護の対象と対象を取り巻く環境について ・各年代の生理的、心理的特徴	a: 各年代の特徴を理解し、患者の年齢を知る意味を理解できたか b: 看護で活用されている理論について考えることができたか c: 人間の各年代の特徴について関心を持ったか	レポート 定期考査	レポート 小論文	授業への取り組み

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度